

ルオーゴ汐留

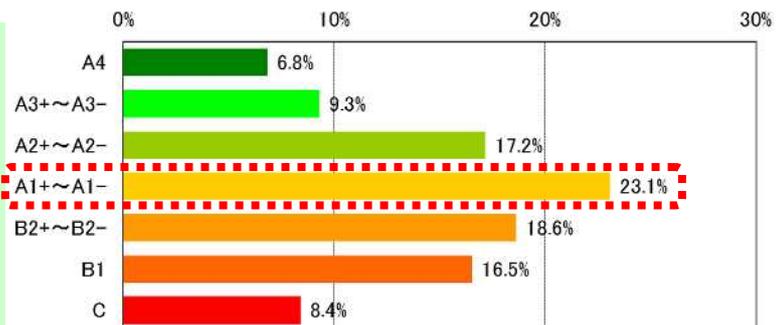
名称:ルオーゴ汐留
 所在地:港区東新橋二丁目3番3号
 施工:大成・竹中・共立・地崎建設共同企業体
 設計:株式会社NTTファシリティーズ
 事業者等:三菱UFJ信託銀行株式会社
 アクティビア・プロパティーズ投資法人
 竣工:2004年7月
 建物構造:鉄骨造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造
 地上11階 地下1階
 延床面積:8242.61m²



建物外観写真

CO₂排出実績

平成30年度 562t
 床面積あたりのCO₂排出原単位
 (562t/8242.61m²)×1,000
 = **68.1kg-CO₂/m²**



テナントビル(オフィス系、中規模)のベンチマーク(2012年度実績版)

※(延床面積 3,000m²以上、10,000m²未満)

| レンジ | 平均値に対する比率 | CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲 | | 事業所数 | 事業所数の割合 | 平均延床面積(m ²) |
|-----|--------------|---|----------|------|---------|-------------------------|
| A4 | 0.55以下 | | 41.6 以下 | 52 | 6.8% | 5473 |
| A3+ | 0.55超-0.60以下 | 41.6 超 | 45.3 以下 | 19 | 9.3% | 4997 |
| A3 | 0.60超-0.65以下 | 45.3 超 | 49.1 以下 | 19 | | 5580 |
| A3- | 0.65超-0.70以下 | 49.1 超 | 52.9 以下 | 33 | 17.2% | 5872 |
| A2+ | 0.70超-0.75以下 | 52.9 超 | 56.7 以下 | 33 | | 5576 |
| A2 | 0.75超-0.80以下 | 56.7 超 | 60.4 以下 | 47 | 18.6% | 5445 |
| A2- | 0.80超-0.85以下 | 60.4 超 | 64.2 以下 | 51 | | 5604 |
| A1+ | 0.85超-0.90以下 | 64.2 超 | 68.0 以下 | 58 | 23.1% | 5580 |
| A1 | 0.90超-0.95以下 | 68.0 超 | 71.8 以下 | 57 | | 5570 |
| A1- | 0.95超-1.00以下 | 71.8 超 | 75.5 以下 | 61 | 18.6% | 5334 |
| B2+ | 1.00超-1.05以下 | 75.5 超 | 79.3 以下 | 53 | | 6057 |
| B2 | 1.05超-1.10以下 | 79.3 超 | 83.1 以下 | 51 | 16.5% | 5739 |
| B2- | 1.10超-1.15以下 | 83.1 超 | 86.9 以下 | 38 | | 5808 |
| B1 | 1.15超-1.50以下 | 86.9 超 | 113.3 以下 | 126 | 8.4% | 5541 |
| C | 1.50超 | 113.3 超 | | 64 | | 5812 |
| | | | 合計 | 762 | 平均 | 5612 |

CO₂排出原単位 68.1kg-CO₂/m²は、都のテナントビル(オフィス系、中規模)ベンチマークレンジでは、「A1」となる二酸化炭素排出の少ないビルです。

省エネルギー対策の取り組み状況

中長期的な省エネルギー対策として、年平均 1%のエネルギー消費原単位削減を目標としている。ビル全体及び各テナントのエネルギー使用量等のデータを収集し、コンサル会社によりチェックを行っている。

当該建物は、グリーンリース（以下 GL）協力の覚書（テナント料の反映なし）を交わし省エネ対策を推進、GL 条項等を通じた協働推進を図っている。温暖化対策協力依頼は、冷暖房切替時の年 2 回協力文書通知で行っている。

各テナントのエネルギー使用量は、個別メーター値情報を提供し、使用量に応じた料金請求を行っている。また、前月と比較して数値が大きく増減した場合は、状況確認を実施している。

◎設備導入での対策

全熱交換器の採用（各フロア 2 台）
（室内の冷暖房熱回収をしながら換気を行っている。）

LED照明の採用（一部共用部）

◎運用での対策

空室・不在時等のこまめな消灯
空調のタイマー運転（共用部）
空調フィルターの清掃・点検
その他設備の定期的な保守点検

◎管理面

定期的に省エネルギー温暖化対策協力依頼を実施している。
過去のデータによる傾向の把握



【全熱交換器の採用】



【LED照明の採用】



◎CO₂ 排出量の推移

2017年度は、入居者の入替えがあり削減されている。

以後は、着実に省エネ化対策が進められている。